

根室市初田牛ガッカラ浜 津波堆積物

根室市初田牛ガッカラ浜の小さな海食崖に津波堆積物の露頭があります。背後は小さな沢状の地形になっていて湿地性のアシが茂っています。

この場所は、海面からの比高が小さく海の砂が運ばれ易いこと、背後が湿地であるために海から運ばれた砂が比較的早い時間で植物に覆われることなどから、津波堆積物が残る条件が整っています。

位置は、北緯43度10分46秒、東経145度20分41秒です。

ここでは、約3,800年間に巨大津波の堆積物と考えられる11層の砂層を見ることができます。約350年に1回、巨大津波が発生していることが分かります。



- ・ 腐植土と高潮堆積物
- ・ 樽前火山の火山灰 (Ta-a : 西暦1739年)
- ・ 駒ヶ岳の火山灰 (Ko-c2 : 西暦1694年)
- ・ 津波堆積物1
- ・ 津波堆積物2
- ・ 白頭山?苦小牧火山灰 (B-Tm : 西暦937年~938年)
- ・ 津波堆積物3
- ・ 4層の砂層津波堆積物4~7
- ・ 津波堆積物8
- ・ 樽前降下火山灰 (Ta-c 約2,500~2,700年前)
- ・ 津波堆積物9
- ・ 津波堆積物10
- ・ 泥炭
- ・ 津波堆積物11
- ・ 摩周火山灰降下軽石 (3,600~3,800年前)
- ・ 津波堆積物12 (GS12)

引用・参考文献

石井正之 2013 根室市ガッカラ浜の津波堆積物
七山太ほか2009 地質学雑誌115 249-260. による